

## 「情報公開文書」

以下、本文-----

**研究課題名：**日常生活活動・生活関連活動の自立度と介助量を把握する評価表の開発

### 1. 研究の対象

令和元年11月1日～令和3年3月31日までの作業療法の指示依頼を受けた方

### 2. 研究目的・方法

現在、少子高齢化が進み、総人口に占める65歳以上の割合(高齢化率)は27.7%と上昇傾向です。高齢者や障がいのある人々が住み慣れた地域で生活する上で福祉サービスや家族、親戚、近隣住民、友人といった地域の支援が必要とされています。

これまで日常生活活動や生活関連活動の自立度を把握する評価表はありましたが、支援者がどの生活活動にどの程度関与しているのかを把握する評価表はありませんでした。本研究では、日常生活活動と生活関連活動の自立度と介助量を把握する評価表を開発し、その妥当性と信頼性を検討します。この研究により、入院患者の退院支援や退院後のフォローアップに活用できる可能性があります。

評価表の記載方法は生活活動の各項目に対して本人の自立度と支援者の介助量を点数化します。また、基本情報として、氏名、性別、年齢、診断名、社会資源(介護度)、キーパーソン、実施日、介入前後の8項目を記載します。評価表の活動項目はこれまでに作成されている日常生活活動、生活関連活動の評価項目の中から抜粋します。支援者の評価項目は、家族同居、家族別居、知人・友人、その他、公的サービスの合計5項目です。各項目で点数化した得点をBADL群、IADL群、AADL群の3つに分け、合計点を算出します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報として氏名、性別、年齢、診断名、社会資源(介護度)、キーパーソン  
被験者の生活環境、生活状況などを用いる。

日常生活評価としてFunctional Independence Measure(以下FIM)、Frenchay Activities Index(以下FAI)

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの  
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで  
お申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：国際医療福祉大学市川病院 リハビリテーション室  
作業療法士 木内 優也  
住所 〒272-0827 千葉県市川市国府台 6-1-14  
(代表電話 047-375-1111)

-----以上